

會から

○いよ／＼春になりました。いろ／＼とお忙しい時でもあるがいくらかのお休みの日もありませう。新しい學期のおしやくもありませうが、新しい子どもをむかえるために、新しい元氣を、養つておいて下さい。巻頭の倉橋主幹の休養論を、おくりものとします。

○波根氏の論文は、子どもをいかに育てるかに就て、極めて有益なる教示をあたられます。本誌は實際論として、次號に引きつゞき理論的な面に進んで下さる筈です。御精讀下さい。

○平井氏の戸外保育論は、日光の禮讃とともに、その保健上の効果を、説明していただいたのです。日光の利益は、たゞ利用するといふばかりでなく、ありがたいという心持ちをもちたいものです。勿論子供は、「ありがたしい」といふよりは、「たのしい」「うれしい」でよいのですが、つまりは、ありがたいという心持ちにはかなりませんね。

○丙山氏の年中行事論は、保育要領にもある年中行事の意義と尊重を説かれたもので、四季を／＼の年中行事を、子どもの生活の色合ともし、／＼るをいともし、時に又、カリキエラムの一主軸ともせましましょう。

○上澤氏のおはなし論は、おはなしの研究者として又實際家としての、氏の平生のうんちくと、苦心との一端をもらされたものとしてよく、味讀したものです。

前號に御披露しました質疑應答は、御清慮なく、／＼お寄せ下さい。

× × × × × × × × × × × ×

『幼児の教育』編集

編集主任 倉橋惣三
協力委員 牛島義友
及川ふみ
齊藤文雄
多田鐵雄
波多野完治
山下俊郎
(五十音順)

編集委員 西山浪太郎

日本幼稚園協會

幼児の教育 第四十卷 第三號

定價 金參拾圓

昭和二十五年三月十五日印刷
昭和二十五年三月二十日發行

東京都中野區千光前町一〇

編集兼 發行者 倉橋惣三

東京都文京區柳町二三番地

印刷者 杉山龜吉

東京都文京區柳町二三番地

印刷所 第一印刷株式會社

東京都文京區大塚町三十五

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

發行所 日本幼稚園協會

東京都千代田區神田神保町二ノ四

發賣所 株式會社 フレーベル館

電話九段(33)三九七一番
振替 東京二九六四〇番

○本誌御購讀について注文申込その他は、凡べて發賣所フレーベル館宛に願います